

特集①) 2022年GW商戦/4-5月の新築マーケット

P.1～4

- 【1】 2022年4-5月 新規ラインナップ状況
- 【2】 2022年4-5月 集客・告知開始物件の状況①②
- 【3】 2022年4月供給開始 好調物件事例:「Brillia City 石神井公園 ATLAS」

**特集②) 環境配慮商品への各社の取り組み状況
～ZEH-M(ゼッチ・マンション)について～**

P.1～8

- 【1】 首都圏:「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」の現状
- 【2】 首都圏:「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」の採用状況
- 【3】 首都圏:「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」各社の取り組み状況①②③
- 【4】 「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」入居者の評価
- 【まとめ】

特集③) 首都圏版:お客様意識調査(2022年4月調査)

P.1～11

～ウクライナ情勢・物価上昇の影響は?～

- 【1】-①② 定点項目「景気動向」「金利動向」「マンション価格動向」
「買い時感」「住宅の検討状況」
- ③④ 定点項目:本人年収別 「景気動向」「金利動向」「価格動向」
- 【2】 物価上昇の影響:「家計への負担感」「消費行動の変化」
- 【3】-① 「金利」上昇の場合の購入タイミング・検討状況への影響
- ② 「マンション価格」上昇の場合の購入タイミング・検討状況への影響
- 【4】 「所得の見通し」について
- 【まとめ】

～次号(2022年5月)の予定～

- ◆特集レポート
- ・(仮)最近の商品傾向【コンパクト住戸の動向】

■ ■ 2022年4月:特集レポートダイジェスト ■ ■

特集①) 2022年GW商戦/4-5月の新築マーケット

2022年4-5月の新築マーケットをみると、首都圏では149棟の新規ラインナップ(供給+集客・告知開始)が顕在化。4-5月の新規スタート物件では、大規模やタワー物件にて第1期供給が100戸以上の事例も複数みられており、GW商戦に向け、マーケットは順調な動きとなっている。

3年ぶりの“行動制限なしのGW商戦”の動きはどうなるのか? 4-5月の集客・告知開始物件等より、GW商戦のマーケット環境を確認。

**特集②) 環境配慮商品への各社の取り組み状況
～「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」について～**

環境配慮への関心が高まる中、新築マンション市場においても、脱炭素化やSDGsへの対応が進んでいる。その取り組みの一つとなる「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」について、各社の取り組み状況や実績、今後の方針を整理。首都圏での「ZEH-M」の現状をまとめました。

特集③) 首都圏版:お客様意識調査 (2022年4月調査)

2022年4月に実施した長谷工アーベストのお客様意識調査では、“ウクライナ情勢”等の世の中の変化により、景況感は大幅に低下となったが、顧客マインド(買い時感・住宅の購入検討)は、横ばいを維持。“ウクライナ情勢”や“円安”“物価上昇”等により、経済・消費への影響・先行き懸念はあるものの、「コロナ禍以降の広さニーズ(在宅勤務ニーズ)」「耐震性・築年数不安の解消」、また、「価格や金利の先高感の強まり」などが、住宅の購入検討を促進している様子が窺えた。

本レポートでは、「景気」「金利」「マンション価格」動向の他、購買行動に影響する以下の項目について、本人年収別での傾向を分析しました。

<分析項目>

- ・物価上昇の家計・消費への影響
- ・「金利」「価格」上昇による影響 等